

# かわら版 市民 プレス

SHIMIN PRESS

「市民フォーラム」  
原 昭二  
デジタル工房  
hara@camelianet.com  
090 (3048) 5502  
〒353-0004 埼玉県志木市本町 2-4-43

市民の目線で市民が発信する地域情報紙  
**WEB SHIMIN**  
<http://shimin.camelianet.com>

「市民プレス」電子版(無料)を公開しました  
<http://pr-shimin.camelianet.com>  
電子書籍専用のアプリケーション等でお読み下さい。

「志木第九の会」は、第十七回定期演奏会で、ベートーヴェンの「ミサ曲ハ長調」と「交響曲第九番」を公演する。

「ミサ曲・作品86」は、神に呼び掛けるギリエに始まり、神を賛美するグロリア、神に感謝するサンクトゥスへと続く。敬虔な合唱曲で、演奏時間は約五十分。

「交響曲第九番」(合唱付) (二短調)は、ベートーヴェンの傑作の一つで、大規模な編成をもち、演奏時間は一時間を超える。

この交響曲が完成したのは、ベートーヴェンが五十五才のとき(1824年、亡くなる三年前)で、後期の彼の作品には、光とともに影が映し出され、歓喜と神への感謝に充ちている。

幽玄な弱音部と壮絶なトゥツティ(全奏)の合奏が交錯する第一楽章、リズムミツクな第二楽章、弦が美しい旋律を導き出す第三楽章、続く最終楽章では、独創性が溢れた「歓喜」の声唱によって結ぶ、という比類の無い、偉大なシンフォニーを創り上げた。

引き継いだコデッタ(小さい結尾)は長調で展開されるが、弦と木管の応答部分では、同じフレーズが短調と長調で交互に繰り返される。展開部では、再び冒頭の和音で始まるが、直ぐ短調となり、第一主題が提示部と同じ長さの変奏で展開される。

冒頭でバリトン歌手が歌う、「O Freunde, nicht diese Töne」は、シラーの原詩にはない。ベートーヴェンが自ら考えたものである。

第一楽章は、Allegro ma non troppo, un poco maestoso (アレグロだが速過ぎぬように、少し威厳をもって) 二短調、ソナタ形式(序奏、提示、展開、再現、終結部をもつ形式)。演奏時間は約十五分。

革新的な楽章で、弦楽器のトレモロ(同音を小刻みに反復)とホルンの持続音が始まると、調性・長短が不明で断片的な動機が、空虚五示され、発展して第一主題となる。

第一主題は、二音とイ音による完全五度を骨格とした力強い主題で、始めに主調の二短調で冒頭の部分がりピートされ、二度目には変ロ長調で現れるが、直ぐ主調に戻って強奏で定着する。

第二主題の導入部は、終楽章の詩が書き直されて「歓喜」の主題を暗示する優しいもので変ロ長調、これを

## ベートーヴェン 交響曲第九番 《合唱付き》

Molto vivace  
(Vivace より早く)  
|| 二短調 Presto  
|| 二長調 Molto  
Vivace Presto (最も速いテンポで) || 右下段に続く



Ludwig van Beethoven (1770-1827)

「楽聖」とも呼ばれ、その作品は、古典派音楽の集大成かつロマン派音楽の先駆けとされる。音楽史上極めて重要な作曲家である。

↑上段から 複合三部形式の旋律が出現し、スケルツォの最終「Freude, schöner Götterfunken, scherzo (諧謔曲)、イタリア語で「冗談」のこと)で、スケルツォの部分

提示部では始めにこの動機をもつ第一主題が素早く出現し、増幅されて全奏となる。第二主題に移り、展開部ではティンパニが活躍して見せ場となる(この楽章はしばしば「ティンパニ協奏曲」と呼ばれる)。

再現部はオクターブの主動機を短い導入部ののち、第一主題を第1ヴァイオリンが静かに歌う。第2主題は4分の3拍子のアンダン

中間部(トリオ)の旋律も、第二主題は4分の3拍子のアンダン四楽章の歓喜の主題を予感させ、テ・モデラートに変わり、続く第

第一主題の変奏の後、管楽器が、新しい動機(前の三つの木管による第二主題の変奏が続く。8分の12拍子と

速められてプレストとなる。オーボエで主題が提示され、弦楽器群のフーガ風の旋律を経てホルンが同じ主題を提示する。木管楽器群と、レクタティヴォ(朗唱)が否が、今度は管楽器の全奏で演

### 志木第九の会 第十七回 定期演奏会

平成27年10月18日(日) 開演: 2時  
和光市民文化センター・サンアゼリア大ホール  
音楽監督: 三澤洋史さんの  
演奏曲目に寄せるお話: 1時30分より  
ベートーヴェン作曲  
ミサ曲ハ長調  
交響曲第九番《合唱付き》  
管弦楽: 東京ニューシティ管弦楽団  
指揮: 三澤洋史  
ソプラノ: 黒澤明子 アルト: 松浦麗  
テノール: 岩本誠 バス: 大森いちえい

三部形式後半のスケルツォは前半のリピートだが、突然中間部の一種と見られるが、展開部を欠

Adagio molto e cantabile (特が第一主題 "Ihr, stürzt nieder" sempre ben marcato (速く、精力的に「常に二音つはこもりと」が再現部。Presto / Recitativo) 二短調。

管楽器の強烈な不協和音で始まるが、直ぐ低弦(チェロとコントラバス)の recitativo がこれに答える。

管弦楽が第一楽章の冒頭を奏す Albero ma non troppo) 二短調

管楽器が、新しい動機(前の三つの木管による第二主題の変奏が続く。8分の12拍子と

管楽器が前の三楽章を回想するが、今度は管楽器の全奏で演定して歓喜の歌が提示され、つい奏される。バリトン独唱が低弦の recitativo と同じ旋律の recitativo と同じ旋律の diese Töne! と歌う。こいで初

### 第12回定期演奏会

ベートーベン: 交響曲第九番 2007年2月4日(日)  
志木市市民会館パルシティ



めて、冒頭から繰り返された低弦の recitativo は、第一、三楽章までの音楽の否定の意味をもつこと

Allegro assai 二長調

"Freude, schöner Götterfunken"

Allegro energico, sempre ben marcato 二長調 4分の6拍子

"Freude, schöner Götterfunken"

"Freude, schöner Götterfunken"

"Freude, schöner Götterfunken"

Allegro energico, sempre ben marcato 二長調

"Froh, wie seine Sonnen"

Allegro ma non tanto (アレグロ)

"Freude, Tochter aus Elysium"

Allegro energico, sempre ben marcato 二長調

"Freude, schöner Götterfunken"

Allegro energico, sempre ben marcato 二長調

"Seid unschlungen, Millionen!"

"Freude, schöner Götterfunken"

Allegro energico, sempre ben marcato 二長調

"Freude, schöner Götterfunken"

Allegro energico, sempre ben marcato 二長調

"Freude, schöner Götterfunken"

Allegro energico, sempre ben marcato 二長調

"Freude, schöner Götterfunken"

Allegro energico, sempre ben marcato 二長調

"Freude, schöner Götterfunken"

Allegro energico, sempre ben marcato 二長調

"Freude, schöner Götterfunken"

Allegro energico, sempre ben marcato 二長調

"Freude, schöner Götterfunken"

Allegro energico, sempre ben marcato 二長調

"Freude, schöner Götterfunken"

Allegro energico, sempre ben marcato 二長調

"Freude, schöner Götterfunken"

Allegro energico, sempre ben marcato 二長調

"Freude, schöner Götterfunken"

Allegro energico, sempre ben marcato 二長調

"Freude, schöner Götterfunken"

Allegro energico, sempre ben marcato 二長調

"Freude, schöner Götterfunken"

Allegro energico, sempre ben marcato 二長調

"Freude, schöner Götterfunken"

Allegro energico, sempre ben marcato 二長調

歓喜に寄せて

一人の友がさらに友人となる

この成功を勝ち取った者

優しい妻を得た者は

詩歌を朗々と唱おうではないか

歓喜よ、神々しい靈感によって

天上の楽園の乙女よ!

我らは酔いしれて天に上ろう

時が流れて離ればなれの人々も

神の魔力で兄弟になる!

貧しい者さへ王侯の兄弟になる

柔らかな翼が留まる所で

一人の友がさらに友人となる

この成功を勝ち取った者

優しい妻を得た者は

歓喜の詩に声を合わせよう!

そうだ、地上で二人でも

心をつつ魂があれば歓喜しよう

また、どうしても

できなかった者は、この輪から

泣いて立ち去るがよい

神が創つたすべてのものは

創造主の乳房から歓喜を飲み

善人と悪人はすべて

創造主の薔薇の踏み跡を辿る

接吻と葡萄酒と

そして死の試練を受けた友を

創造の主は我々に与えた

快楽は弱い人間にも与えられ

天使ケルビムは神の御前に立つ

天の星が天空を飛びゆくように

兄弟よ、楽しく自らの道を進め

英雄のように勝利を目指せ

抱擁を受けようではないか

この口づけを全世界に!

兄弟よ、星空の上には一人の

父なる神が住むに違いない

諸々の人々よ、跪こうではないか

世の人々は創造主を予感する

星空の彼方に神を求めよう

父の神は必ずや天に住みたもう

Johann Christoph Friedrich von Schiller (1759 ~ 1805)



シラーは、詩人、歴史学者、劇作家、思想家で、ゲーテと並ぶドイツ古典主義の代表者。独自の哲学と美学に裏打ちされた理想主義、英雄主義、そして自由を求める不屈の精神が、彼の作品の根底に流れるテーマである。

ベートーヴェン ミサ曲八長調 作品86

ミサ曲の由来

カトリック教会の祭典儀礼として、ミサ(感謝祭儀)は重要であり、朗誦された典礼文が基盤となつて多声の「ミサ曲」が作曲された。ミサ曲には典礼文のテキストが使われるので、作曲された時代背景が異なっても、歌詞は変わらない。

グロリア 栄光の賛歌

神を讃美する力強い合唱で始まり、テノール・ソロの荘厳な感謝の歌へ、次いでテンポが遅くなり、アルトのソロが「我らを憐れみ願ひを聞き入れたまへ」と歌う。

クレド 信仰宣言 信条

使徒の信条(キリスト教徒として最も基本的な認識)を述べる曲で、「唯一の神、全能の父を我らは信ずる」という歌詞が鋭く

アニウス・デイ 平和の賛歌

「神の小羊、世の罪を除きたもう主よ、我らを憐れみ、平安を与えたまへ」と歌われる最後の章は、重々しく深刻な調子で開

キリエ 憐れみの賛歌

中間でアダージョとなつて、キリストの降誕と受難の経緯が沁み沁みと、しかも劇的に歌われる。始めのテンポに戻つて、バ

Domine Deus, Rex coelestis, Deus Pater omnipotens. Domine fili unigenite, Jesu Christe. Domine Deus, agnus Dei, filius patris. Qui tollis peccata mundi, miserere nobis, qui tollis peccata mundi, suscipe deprecationem nostram, qui sedes ad dexteram patris, miserere nobis. Quoniam tu solus sanctus, tu solus dominus, tu solus altissimus, Jesu Christe, cum Sancto Spiritu in gloria Dei patris. amen.

グロリア (栄光の賛歌) 天のいと高きところには神に栄光、地には善意の人に 平和あれ。 われら主を誉め、主を讃え、主をおがみ、主を崇め、主の大いなる栄光のゆえに感謝し奉る。 神なる主、天の王、全能の父なる神よ。 主なる御一人子、イエス・キリストよ。 神なる主、神の子羊、父のみ子よ。 世の罪を除きたもう主よ、われらをあわれみ賜え。 世の罪を除き賜う主よ、われらの願いを聞き入れたまへ。 父の右に座し賜う主よ、

Kyrie Kyrie eleison. Christe eleison. Kyrie eleison. キリエ (憐れみの賛歌) 主よ、憐れみ賜え。 キリスト、憐れみ賜え。 主よ、憐れみ賜え。 Gloria Gloria in excelsis Deo, et in terra pax hominibus bonae voluntatis. Laudamus te, benedicimus te, adoramus te, glorificamus te, Gratias agimus tibi propter magnam gloriam tuam.



創立20周年記念、平成24年(2012)6月3日(日)、和光市民文化センター『サンアゼリア』大ホールで  
大曲 ヴェルディの「レクイエム」の演奏に挑む  
音楽監督・指揮：三澤 洋史 管弦楽：東京ニューシティ管弦楽団 合唱：志木第九の会 坂戸第九を歌う会(賛助出演)

